

東海カード会員だより

2022年12月20日発行

各支部総会・校友会(同窓会・後援会・白鷗会各会員を含みます)日程(予定)

…詳細は各担当事務局・または学園校友ユニットへ…

1. 12月26日 (月) 吹奏楽研究会第61回定期演奏会
17:30 渋谷公会堂
2. 1月15日 (日) 学園校友会中部ブロック合同懇談会
14:00 四日市・都ホテル

東海大学オフィシャルサイトより抜粋

女子バレーボール部が全日本インカレで2連覇を果たし、今季4冠を達成しました

湘南校舎の男女バレーボール部が11月29日から12月4日まで、東京都・大田区総合体育館などで開催された第75回秩父宮賜杯全日本大学男子選手権大会／第69回秩父宮妃賜杯全日本大学女子選手権大会(全日本インカレ)に出場。女子部が決勝で日本女子体育大学を破って2年連続9回目の大学日本一に輝き、春秋の関東大学リーグ戦、東日本インカレと合わせて今季4冠を達成しました。

女子部は1回戦の愛知教育大学に3-0で勝利すると、その後も準決勝の神戸親和女子大学戦までの5試合を1セットも落とすことなく勝ち進みます。日本女子体育大学との決勝では、1セット目にリードを許す場面もありましたが、日本代表でも活躍する宮部愛芽世選手(体育学部3年次生)や佐々木遥子選手(同)を中心に攻撃的なバレーを展開。逆転で第1セットを取ると、その後は相手を寄せ付けず3-0で栄冠をつかみました。

藤井壮浩監督(スポーツプロモーションセンター教授)は、「今年度は、けが人が出たりコロナ禍もあったりと大変なこともありましたが、4年次生を中心に最後までまとめ上げてくれました。決勝戦は序盤でこちらのペースをつくれず、苦しんだ場面もありましたが、選手たちがよく頑張ってくれました。4冠達成はマネージャーやトレーナーの学生も含め4年次生たちが丁寧にさまざまな面でチームを進めてくれて、このような形に結実したと感じています。決勝まで1戦1戦を大切に戦い、選手たちは金メダルに似合う顔付きになりました」と話しました。大会最優秀選手賞に選ばれた中川つかさ主将(体育学部4年次生)は、「本当にうれしい気持ちと同時に、いい形で終わることができてホッとしています。スタートだけでなくつなぎの部分の精度を高めようと1年やってきたことが今大会でも初戦から出せていて、決勝まで続けられたことが勝因だと思います。今季は4冠という大きな目標を立てて、それがプレッシャーにもなりましたが、皆で頑張って乗り越えられました」と笑顔で語りました。

なお、男子部は1回戦の東北学院大学戦から準々決勝の東京学芸大学戦まで4試合を1セットも落とさず勝ち進むと、準決勝では日本体育大学に3-1で快勝。6年ぶりの決勝進出を果たしました。筑波大学との決勝では第1セットを先取するも、その後はリードを奪われ1-3で敗れ準優勝となりました。

平塚市城島地区の「米づくり・野菜づくり体験」に参加しました

建築都市学部土木工学科(工学部土木工学科※)の梶田佳孝教授のゼミに所属する4年次生5名が11月19日に、神奈川県平塚市の城島地区で行われた地域活性化イベント「米づくり・野菜づくり体験」に参加しました。

(裏面へ続く)

神奈川県「地域の支え合い仕組みづくり事業」に採択された「地域資源活用による交流型体験の里づくり事業」の一環で、城島地区地域活動推進会議が中心となり、平塚市と湘南NPOサポートセンターとともに実施したもの。同事業では、4月の「第2回きじまるシェ」にはじまり、6月に田植えとダイコンやジャガイモの収穫、7月に稲の観察会と枝豆の収穫、10月に稲刈りと落花生の収穫と、多彩な企画を実施しており、都市計画について学んでいる梶田ゼミの学生も毎回参加してきました。

今回は、サトイモの収穫体験と交流会が行われ、学生たちは会場設営などの運営に協力。交流会では参加者が感想を述べ、今後の活動への意見交換が行われたほか、地域協力者の紹介や、同事業で収穫した新米と豚汁も振る舞われました。宇山宝輝さんは、「田植えや稲刈りは初めての経験で、こうやってお米ができていくんだと肌で感じることができました。地域の特徴である農業を生かしたイベントだからこそ、多くの人が興味を持って参加しているのだと思います。現場に出ることで多くのことを教えてもらいました」とコメント。藤本樹さんは、「高齢化が進む町で、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の人が交流できる貴重な場になっていると感じます。こうしたつながりは災害が起きたときにも重要になるので、今後も続けてほしい」と話し、「研究で人口増減のデータなどを見ていると、交通の便が悪くても特定の場所だけ人が増えていることがあります。こうしたイベントも一役買っているのでは」と学びを得た様子でした。

同事業実行委員長の石塚崇氏は、「高齢化が進み、若者が出入りすることは少なかったのですが、学生たちが来てくれて地域住民はとても喜んでいました。いつも前向きで、積極的に力を貸してくれたおかげでイベントも盛り上がりました。3年かけて実施してきた本事業は今年が完成年度となりますが、今後も活動を続けていくために、次のアイデアを一緒に考えるところから参加してほしい」と期待を語りました。

※東海大学工学部は2022年4月から工学部と建築都市学部の2学部へ改編され、土木工学科は建築都市学部を構成する学科となりました。

東海大学ネットをご活用ください

・MicrosoftOffice365 システムによる生涯メールアドレスの利用
(tokai-u.jpのドメイン) 詳細は以下URLをご覧ください。
<https://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/service/net/>

インターネットホームページについて

URL : <https://www.kouyu.tokai.ac.jp/> (校友会)
<https://www.kouyu.tokai.ac.jp/kouenkai/> (後援会)
<https://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/> (同窓会)

校友会・後援会・同窓会ではホームページを開設しております。会員の皆様からの情報をもとに内容を充実させていきたいと考えておりますので、ご意見・ご希望をお寄せ下さい。事務局までお気軽にお願いいたします。

東海大学学園校友会 (校友会・白鷗会・同窓会) 事務局
学校法人東海大学学園事務センター (学園校友ユニット)
〒151-8677 渋谷区富ヶ谷 2-10-2 TEL 03-3467-2211 (代表)
E-mail koyukai@tokai.ac.jp

東海大学後援会事務局
東海大学キャンパスサポートオフィス
〒259-1252 平塚市北金目 4-1-1 TEL 0463-58-1211 (代表)
E-Mail koyu@tsc.u-tokai.ac.jp